

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年11月15日(2022.11.15)

【国際公開番号】WO2021/166823

【出願番号】特願2022-501862(P2022-501862)

【国際特許分類】

A 6 1 J 3/00(2006.01)

【F I】

A 6 1 J 3/00 3 1 0 K

10

【手続補正書】

【提出日】令和4年11月7日(2022.11.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

< 分包機 >

図1に示されるように、分包装置100は、ネットワーク20に接続された分包機コントローラ101と、分包機コントローラ101により制御され分包作業を行う筐体102とを有する。分包装置100の筐体102は、複数の薬剤を保管するための複数のフィーダ104を備える。複数のフィーダ104は、縦と横に配置される。正面から見て奥側にも複数のフィーダ104を配置できる。フィーダ104は、保管されている薬剤を下側に一錠ずつ落下できる。

20

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

図3に示されるように、分包装置100の筐体102は、フィーダ104の下側に、ホッパー106を備える。ホッパー106は、上側に広く開口を有し、下側に上側より狭い開口を有する筒状の部材である。ホッパー106は、上側のフィーダ104(図1参照)から落下する薬剤50を収集し、下側で薬剤を一か所に集める。ホッパー106の下側に、投入管108を備える。

30

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0034

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0034】

包装機構110は、分包紙112を送り出す供給機構114と、分包紙112を熱融着するヒートシール機構116とを備える。分包紙112は、熱融着性の素材で構成される。分包紙112は、長尺のシートを短手方向に二つ折りにしてロール状に巻かれた状態である。

40

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0065

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0065】

薬剤識別装置300は、ラベルプリンター機構316を備えることができる。搬送路を挟んでラベルプリンター機構316に対向する位置に第3カメラ330が配置される。第3カメラ330は、分包袋118の縦シール部118Aに形成されたミシン目118Cを撮像し、位置を検出する。ミシン目118Cの検出位置を基準に、ラベルを貼り付ける位置が調整される。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0071

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0071】

図1及び図4に示されるように、分包装置100の排出口120から排出された分包袋118が、収容ケース200に収容される。分包袋118の先端が、薬剤識別装置300の投入口302に投入される。モーター221を回転させることでカム222が回転する。連結部材226が、カム222の回転により往復直線運動する。連結部材226は、ガイドレール212に沿って移動可能なベースプレート214に取り付けられているので、ベースプレート214が搬送方向に直交する方向に往復運動し、ベースプレート214に支持された収容ケース200を搬送方向に直交する方向に振動する。カム222の回転運動が、連結部材226とベースプレート214とガイドレール212とにより往復直線運動に変換される。

10

20

30

40

50